令和７年第３回 多賀城市教育委員会臨時会 議事録

１　**会議の年月日**　令和７年８月６日（水）

２　**招集場所**　市役所北庁舎５階　５０２会議室

３　**出席委員等**　教育長　麻生川　敦　　委　員　小野　聡子

委　員　星山　純一郎

４　**欠席委員**　委　員　大井　知教　　委　員　髙田　彩

５　**説明のため出席した事務局職員**

教育部長	中野　裕夫
次長兼教育総務課長	柴田　光起
理事兼学校教育監	石田　隆幸
生涯学習課長	松田　直樹（秘密会時は退席）
参事兼教育総務課長補佐	古関　義信

６　**傍　聴　人**　なし

７　**記　録　係**　教育総務課主査　鈴木　浩幸

８　**開会の時刻**　午後６時

９　**議事日程**

日程第１　議事録署名委員の指名について

日程第２　議　事

(1) 議案第２４号　令和８年度使用教科用図書の採択について

日程第３　その他

教育長

ただ今の出席者は３名であります。定足数に達しておりますので、これより令和７年第３回教育委員会臨時会を開会いたします。

日程第１　議事録署名委員の指名について

教育長

はじめに、議事録署名委員の指名を行います。議事録署名委員は、多賀城市教育委員会会議規則第２１条第３項の規定により、教育長において、星山委員、小野委員を指名いたします。よろしくお願いします。

これより本会議を行います。

日程第２　議　事

議案第２４号　令和８年度使用教科用図書の採択について

教育長

それでは、議事に入ります。議案第２４号ですが、文部科学省初等中等教育局長通知「教科書採択における公正確保の徹底等について」により、教科書採択に係る審議教育委員会の会議について、次のように通知されていますので、朗読します。

「教科書採択については、教科書発行者に限らず、外部からのあらゆる働きかけに左右されることなく、静ひつな環境を確保し、採択権者の判断と責任において公正かつ適正に行われるよう努めること。教科書採択に係る教育委員会の会議を行うに際しては、静ひつな審議環境の確保等の観点から検討を行い、会議の公開・非公開を適切に判断するとともに、傍聴に関するルールを明確に定めるなど、適切な審議環境の確保に努めること。」とされております。

よって、本件につきましては、「多賀城市教育委員会会議規則第５条」の規定に基づき、秘密会としたいと思いますが、御異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

教育長

異議がないようですので、これより秘密会といたします。

それでは、関係課長以外は、暫時、退室願います。

＜生涯学習課長　退室＞

【秘密会部分は非公開として、別途議事録作成】

教育長

それでは、関係課長等に入室願います。

（生涯学習課長　入室）

日程第３　その他

教育長

次に、日程第３その他に入ります。各委員等から特に議題としたい事項等がありましたらお願いします。

（「ありません」の声あり）

事務局からありますか。学校教育監。

学校教育監

お手元にお配りした「チーム担任制の導入に向けて」のリーフレットについて、簡単に御説明いたします。

委員の皆様も御承知のとおり、令和６年度より多賀城小学校では、５・６年生に「チーム担任制」を導入しております。リーフレットの表紙にも掲載しておりますが、多賀城小学校の子供たちからは「たくさんの先生と関わることができてうれしい」、保護者からは「学校が開かれた感じがし、安心できる環境です。」、教職員からは「各学級の子供たちや同学年のメンバーから、たくさんの気付きを得ることができます。」など、チーム担任制導入後の良さや成果を実感しているという声がたくさん寄せられております。

また、県の教職員課長や義務教育課長、そして近隣市町の学校職員が多賀城小学校を視察に訪れており、県も注視する取組であり、導入を視野にいれている学校は少なくありません。

表紙をめくってください。チーム担任制を導入したいという背景にある、「学校の置かれている現状」を記載しておりますが、「若手教員の増加」「子供や保護者対応に苦慮するケースの増加」それに伴い「教員の休職や退職につながるケースの増加」などの課題が挙げられます。また、同じページ下段には、これまで当たり前であった「固定担任制」の限界も指摘しております。こうした課題や現状への緊急対応の有効な手立てとして、また子供たち・保護者・教職員にとって「三方よし」の取組としての可能性を秘めているのが、この「チーム担任制」です。

右のページを御覧ください。チーム担任制の一般的な定義付け、そして指導のパターンを示しています。

ページをめくってください。多賀城小学校のチーム担任制の説明を記載しています。前ページに記載のチーム担任制との大きな違いは、教員加配の有無です。多賀城小学校のチーム担任制は加配があり、「教科担任制」と「チーム担任制」を併せたような体制になっています。

詳細については、割愛いたしますが、ここまで説明したような「チーム担任制導

入の型」をまとめたこのリーフレットは、導入を考えている学校にとって非常に参考となる資料かと思います。

しかし、このリーフレットの肝は、「チーム担任制を導入・実践するための留意点は？」に記載している内容です。このチーム担任制の型をうまく機能させるためには、ここに記載の「校長のリーダーシップとマネジメントの強化」、「学年主任のリーダーシップ」、「同僚性を育むための対話文化の醸成」、「教員の得意分野を生かした組織力の強化」、「学年内の適切な役割分担」などを踏まえているかどうかが大事になってきます。

多賀城小学校において、昨年度１年間実践をし、保護者や児童、教職員へのアンケート結果等を丁寧に分析して得たエビデンスに基づいた見解でもあります。

リーフレット最後の裏面を御覧ください。先進校等の成果や課題、多賀城小学校の導入スケジュールを記載しております。

このリーフレットの利活用について、まずは市内小中学校に配布し、チーム担任制をキーワードに、学校組織体制強化に向けての参考にしてほしいと考えています。さらには、県内外で導入を考えている学校等への情報発信資料としても活用を図っていければと思います。

以上で、説明を終わります。

教育長

これは何かを決めるということではなく、ご意見がありましたら、お伺いしたいということです。このような形で学校にパンフレットを出して、チーム担任制はシステムを作るだけではなくて、やはりそこには配慮事項があって、その運営形態がとても大切になるということも示しながら、チーム担任制ではなくても、チームとして学年をまとめたりするための参考にしていただきたいということで出したいということです。

何かご意見がありましたら、お願いします。星山委員。

星山委員

ちょうど私の娘が多賀城小学校の６年生で、チーム担任制の当該学年だったのですが、制度が導入されて、娘が学校に行くのが非常に楽しくなった雰囲気がありました。

というのは基本的に１ヶ月間という決まりではありませんけども、例えば４月から始まって、運動会が終了したら担任の先生が変わる。そういったことを子どもの時から楽しく学校に行けるような雰囲気は、私はすごく感じました。あと、これ

は当時の市岡校長先生にもお話させていただいたのですけど、宿題ではなく、自分で勉強したものですが、それをその担任の先生に出して、それを先生が丸付けとか、いろいろコメントを書いてくれるのですが、非常に丁寧に書いていただいているのです。

市岡先生に、こんな一人にこれだけのコメントを書くって大変な作業ではないでしょうかという話をしたら、逆にそのチーム担任制で、一人先生が余って職員室にいるので、その時にそういった丸付けやチェックができるので、全く大変ではないということを聞いた時に何か非常に良い取り組みだと思いました。

その課題に先生がたくさんコメントを書いてくれることによって、子どもがやる気を起こしていたのです。私は非常に個人的にありがたいと思って他の保護者の意見を聞くと、その５～６年生の保護者に聞くと、「これはやはりずっと続けてほしいですし、それこそ全校で実施していただきたい」とＰＴＡの役員の方々の話が上がっています。なので、ぜひこちらも前向きに検討していただければと思います。様々な留意点があるかと思いますが、良いところしか私には見つからなかったのです。ありがとうございます。

教育長

ほかに、ございますか。小野委員

小野委員

私も見させていただきました。よい取り組みだと思います。やはりみんなで子どもを見られるような体制がよいのではないかと思いました。中学校で同じような固定担任ではなく、担任を交換するというのは考えておられるのでしょうか。

学校教育監

現在中学校の方で、そのような形で実施しようと、現在考えている学校は、まだ承知していないのですが、朝の会や給食の時間など、そういった時に担任を支援するという方法があるのではないかということは、情報発信をさせていただいているところです。

教育長

できればどちらかというと、全ての多賀城市内の学校で、せっかくの取り組みなので共有してもらいたいし、参考にしていただけるところがあれば、ぜひ一歩踏み出して頂ければと思っています。

小野委員

中学校こそ、専門性とよく言われますが、それをこういったところでの協力やチームを作ってもらえると、私は中学生も教員も成長するのではないかと思います。

教育長

校長会等で、そういうご意見を伝えていければと思います。

小野委員

できるところでやってみるということは良いことだと思います。いろいろな先生に子どもたちは教えていただき、接することができると、多様な価値観を学ぶことができるのではないかと思います。

教育長

ほかに、ございますか。星山委員

星山委員

先生方に失礼かと思いますが、昔よくある担任ガチャというのが、それがなくなったというのも非常に話題になっていました。その子どもは私の娘ではありませんけど友人の息子が、少し友達同士のいざこざがあったときに、今までは担任の先生が基本的に相談する相手だと思いますが、その担任は変わるので、何でしょうか。相談しやすかったらしいのですよね。

それが非常にその保護者にとっても、子どもにとっても、そのような相談を誰に相談してもよいという姿勢が良かったという話も出ていましたので、あえてお話しします。

教育長

初任の先生が非常に楽しくできたという意見もありました。初任の先生たちの中でも発表したようですが、非常にいろいろなことを聞けて良かったという話もありました。できれば広げていきたいなと思います。

まだ未定稿なので、決定したらお知らせしたいと思います。

それでは他にありますか。よろしいでしょうか。

（「ありません」の声あり）

それでは以上で、本日の日程をすべて終了いたします。
これをもちまして、令和７年第３回教育委員会臨時会を閉会いたします。

午後６時１７分閉会

この議事録の作成者は次のとおりである。

教育総務課主査　鈴木　浩幸

この議事録の正確なことを認め、ここに署名する。

令和７年８月２８日

多賀城市教育委員会

教育長

委　員

委　員